

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	航空電子機械工学特別演習Ⅱ（Aeronautical、Electronic & Mechanical Engineering SeminarⅡ		
ナンバリングコード	M30302	大分類／難易度 科目分野	航空電子機械工学専攻／応用レベル
単位数	2	配当学年／開講期	2年／通年
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	M002511	クラス名	穂刈研究室
担当教員名	穂刈 一樹		
履修上の注意、 履修条件	英語の文献を読み、その内容を理解することができる英語力が必要となる。		
教科書	特になし。		
参考文献及び指定図書	必要に応じて、文献を紹介する。		
関連科目	航空電子機械工学特別演習Ⅰ		

○基本情報		
授業の目的	研究を行うために必要な先行研究における知見および具体的な研究手法を習得することを目的とする。特に、航空電子機械工学専攻のディプロマ・ポリシーにおける「社会の発展に貢献しようとする高い志をもって産業界に寄与できる柔軟な思考力、実行力、コミュニケーション力、技術力、問題発見及び解決能力、ならびに地域社会・国際社会におけるリーダーシップと企画実践能力」の習得を目標とする。	
授業の概要	本科目では、研究テーマを決め、研究計画立案、文献調査・実験、データ分析・まとめ、担当教員への報告と議論、論文作成、学会における論文発表またはその準備、他の研究者との議論など研究活動全般を担当教員の指導の下で行う。特に、調査した文献について、調べた内容をまとめ、プレゼンテーション形式で発表する。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	積極的に文献調査を行う。 資料を作成して出席する。 議論に参加できる。		10点	10点
【知識・理解】	研究に必要な英語の基本的文献を読み、理解できる。 先行研究の文献を読み、理解できる。		10点	20点
【技能・表現・コミュニケーション】	先行研究の内容をまとめた資料を作成し、正しく説明できる。 議論に参加し、適切な受け答えができる。		10点	20点
【思考・判断・創造】	先行研究の成果や課題を認識し、自身の研究内容に反映させることができる。			20点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
文献調査において作成された資料の内容および発表内容、議論への参加状況に基づいて評価する。 発表内容について議論を行い、発表者本人の研究との関係についてフィードバックを行う。	

○その他
研究の進捗状況に応じて、下記の授業計画は変更することがある。

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名	航空電子機械工学特別演習Ⅱ（Aeronautical、Electronic & Mechanical Engineering）	授業コード	M002511
		担当教員	穂刈 一樹		
学修内容					
1. ガイダンス					
研究進捗状況を踏まえ、授業の進め方について決定します。					
予習	修士1年時の研究成果をまとめる。				約2時間
復習	決定した授業の進め方に応じて、準備を行う。				約2時間
2. 関連論文の輪読					
関連分野の文献についてまとめ、発表する。					
予習	関連分野の文献内容についてまとめ、発表資料を作成する。				約2時間
復習	議論した箇所について、さらなる調査を行う。				約2時間
3. 関連論文の輪読					
関連分野の文献についてまとめ、発表する。					
予習	関連分野の文献内容についてまとめ、発表資料を作成する。				約2時間
復習	議論した箇所について、さらなる調査を行う。				約2時間
4. 関連論文の輪読					
関連分野の文献についてまとめ、発表する。					
予習	関連分野の文献内容についてまとめ、発表資料を作成する。				約2時間
復習	議論した箇所について、さらなる調査を行う。				約2時間
5. 関連論文の輪読					
関連分野の文献についてまとめ、発表する。					
予習	関連分野の文献内容についてまとめ、発表資料を作成する。				約2時間
復習	議論した箇所について、さらなる調査を行う。				約2時間
6. 研究の進捗状況について					
研究の進捗状況を発表してもらい、先行研究の調査結果を踏まえ、研究の進め方を調整する。					
予習	研究の進捗状況についてまとめ、発表資料を作成する。				約2時間
復習	議論した箇所について、さらなる調査を行う。				約2時間
7. 研究の進捗状況について					
研究の進捗状況を発表してもらい、先行研究の調査結果を踏まえ、研究の進め方を調整する。					
予習	研究の進捗状況についてまとめ、発表資料を作成する。				約2時間
復習	議論した箇所について、さらなる調査を行う。				約2時間
8. 研究の進捗状況について					
研究の進捗状況を発表してもらい、先行研究の調査結果を踏まえ、研究の進め方を調整する。					
予習	研究の進捗状況についてまとめ、発表資料を作成する。				約2時間
復習	議論した箇所について、さらなる調査を行う。				約2時間

○授業計画		科 目 名 担当教員	航空電子機械工学特別演習Ⅱ（Aeronautical、Electronic & Mechanical Engineering） 穂刈 一樹	授業コード	M002511
学修内容					
9. 研究の進捗状況について 研究の進捗状況を発表してもらい、先行研究の調査結果を踏まえ、研究の進め方を調整する。					
予習		研究の進捗状況についてまとめ、発表資料を作成する。			約2時間
復習		議論した箇所について、さらなる調査を行う。			約2時間
10. 関連論文の輪読 関連分野の文献についてまとめ、発表する。					
予習		関連分野の文献内容についてまとめ、発表資料を作成する。			約2時間
復習		議論した箇所について、さらなる調査を行う。			約2時間
11. 関連論文の輪読 関連分野の文献についてまとめ、発表する。					
予習		関連分野の文献内容についてまとめ、発表資料を作成する。			約2時間
復習		議論した箇所について、さらなる調査を行う。			約2時間
12. 関連論文の輪読 関連分野の文献についてまとめ、発表する。					
予習		関連分野の文献内容についてまとめ、発表資料を作成する。			約2時間
復習		議論した箇所について、さらなる調査を行う。			約2時間
13. 関連論文の輪読 関連分野の文献についてまとめ、発表する。					
予習		関連分野の文献内容についてまとめ、発表資料を作成する。			約2時間
復習		議論した箇所について、さらなる調査を行う。			約2時間
14. 研究の進捗状況について 研究の進捗状況を発表してもらい、先行研究の調査結果を踏まえ、研究の進め方を調整する。					
予習		研究の進捗状況についてまとめ、発表資料を作成する。			約2時間
復習		議論した箇所について、さらなる調査を行う。			約2時間
15. 研究の進捗状況について 研究の進捗状況を発表してもらい、先行研究の調査結果を踏まえ、研究の進め方を調整する。					
予習		研究の進捗状況についてまとめ、発表資料を作成する。			約2時間
復習		議論した箇所について、さらなる調査を行う。			約2時間
16. 研究の進捗状況について 研究の進捗状況を発表してもらい、先行研究の調査結果を踏まえ、研究の進め方を調整する。					
予習		研究の進捗状況についてまとめ、発表資料を作成する。			約2時間
復習		議論した箇所について、さらなる調査を行う。			約2時間

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名 担当教員	航空電子機械工学特別演習Ⅱ（Aeronautical、Electronic & Mechanical Engineering） 穂刈 一樹	授業コード	M002511
学修内容					
17. 研究の進捗状況について					
研究の進捗状況を発表してもらい、先行研究の調査結果を踏まえ、研究の進め方を調整する。					
予習	研究の進捗状況についてまとめ、発表資料を作成する。				約2時間
復習	議論した箇所について、さらなる調査を行う。				約2時間
18. 関連論文の輪読					
関連分野の文献についてまとめ、発表する。					
予習	関連分野の文献内容についてまとめ、発表資料を作成する。				約2時間
復習	議論した箇所について、さらなる調査を行う。				約2時間
19. 関連論文の輪読					
関連分野の文献についてまとめ、発表する。					
予習	関連分野の文献内容についてまとめ、発表資料を作成する。				約2時間
復習	議論した箇所について、さらなる調査を行う。				約2時間
20. 関連論文の輪読					
関連分野の文献についてまとめ、発表する。					
予習	関連分野の文献内容についてまとめ、発表資料を作成する。				約2時間
復習	議論した箇所について、さらなる調査を行う。				約2時間
21. 関連論文の輪読					
関連分野の文献についてまとめ、発表する。					
予習	関連分野の文献内容についてまとめ、発表資料を作成する。				約2時間
復習	議論した箇所について、さらなる調査を行う。				約2時間
22. 研究の進捗状況について					
研究の進捗状況を発表してもらい、先行研究の調査結果を踏まえ、研究の進め方を調整する。					
予習	研究の進捗状況についてまとめ、発表資料を作成する。				約2時間
復習	議論した箇所について、さらなる調査を行う。				約2時間
23. 研究の進捗状況について					
研究の進捗状況を発表してもらい、先行研究の調査結果を踏まえ、研究の進め方を調整する。					
予習	研究の進捗状況についてまとめ、発表資料を作成する。				約2時間
復習	議論した箇所について、さらなる調査を行う。				約2時間
24. 研究の進捗状況について					
研究の進捗状況を発表してもらい、先行研究の調査結果を踏まえ、研究の進め方を調整する。					
予習	研究の進捗状況についてまとめ、発表資料を作成する。				約2時間
復習	議論した箇所について、さらなる調査を行う。				約2時間

○授業計画		科 目 名	航空電子機械工学特別演習Ⅱ（Aeronautical、Electronic & Mechanical Engineering）	授業コード	M002511
		担当教員	穂刈 一樹		
学修内容					
25. 研究の進捗状況について					
研究の進捗状況を発表してもらい、先行研究の調査結果を踏まえ、研究の進め方を調整する。					
予習	研究の進捗状況についてまとめ、発表資料を作成する。				約2時間
復習	議論した箇所について、さらなる調査を行う。				約2時間
26. 関連論文の輪読					
関連分野の文献についてまとめ、発表する。					
予習	関連分野の文献内容についてまとめ、発表資料を作成する。				約2時間
復習	議論した箇所について、さらなる調査を行う。				約2時間
27. 関連論文の輪読					
関連分野の文献についてまとめ、発表する。					
予習	関連分野の文献内容についてまとめ、発表資料を作成する。				約2時間
復習	議論した箇所について、さらなる調査を行う。				約2時間
28. 関連論文の輪読					
関連分野の文献についてまとめ、発表する。					
予習	関連分野の文献内容についてまとめ、発表資料を作成する。				約2時間
復習	議論した箇所について、さらなる調査を行う。				約2時間
29. 関連論文の輪読					
関連分野の文献についてまとめ、発表する。					
予習	関連分野の文献内容についてまとめ、発表資料を作成する。				約2時間
復習	議論した箇所について、さらなる調査を行う。				約2時間
30. 研究のまとめ					
最終試問に向けて、研究のまとめを行い、発表する。					
予習	研究成果についてまとめた発表資料を作成する。				約2時間
復習	指摘された箇所について修正する。				約2時間
31. 研究のまとめ					
最終試問に向けて、発表資料の修正を行う。					
予習	修正した発表資料を作成する。				約2時間
復習	最終の発表資料を作成する。				約2時間
32. 研究資料の整理					
研究成果、文献のデータなどを整理し、まとめる。					
予習	研究過程で生じたすべての資料を整理し、まとめる。				約2時間
復習	まとめた研究資料について指摘事項があれば、反映させて資料を整備する。				約2時間